

# 趣旨説明

## アメリカザリガニとブラックバス退治で水辺の豊かな自然を復活しよう

高橋清孝 シナイモツゴ郷の会

10～20年前はブラックバス対策が主課題でしたが、近年は多くの外来種による被害が多発し、多様な対策が求められています。水中では、複数の外来種が相互に激しく競争しながら生育しています。今や、単一種の防除では十分な成果を上げることができず、複数種を対象とした総合的防除を検討する段階に入っていると考えられます。当会では、2002年からブラックバスを、2014年からアメリカザリガニを継続して防除しています。

主題のアメリカザリガニについては、昨年6月に条件付特定外来生物に指定され、各地で防除活動が始動しました。当会がアメリカザリガニの防除活動を継続しているため池では右写真のように様々な生き物がよみがえっています。全国15万個のため池のほんの一部でも、適切な防除が行われれば、さらに多くの生き物を復活できます。

本シンポジウムでは、両種の防除による在来生物の復活状況を紹介し、今後の自然再生の在り方を議論します。そして、里山水辺の豊かな自然を復活する新たな方式を提案します。



里山ため池でアメリカザリガニ退治後よみがえった生き物たち  
 ①ニ枚貝(タガイ) ②ゼニタナゴ ③シナイモツゴ ④アカガエル  
 ⑤ヌカエビ ⑥エグリトビケラ ⑦トンボ類ヤゴ ⑧ミヤケムズムシ



連続捕獲装置 人工水草 小型専用トラップ  
**アメリカザリガニ防除**  
**:地域ぐるみで2014年～継続中**

トンボ類ヤゴが急増

よみがえった生き物たち

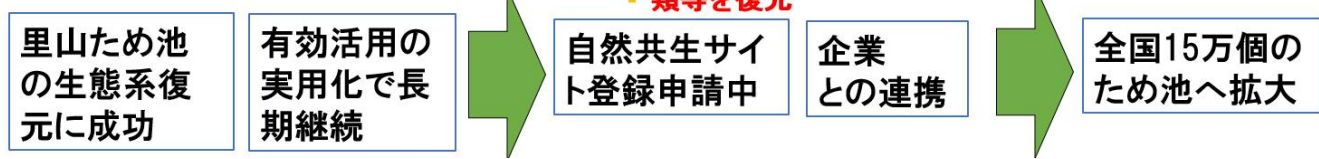
図1 里山ため池でアメリカザリガニ退治後よみがえった生き物たち  
 ①ニ枚貝(タガイ) ②ゼニタナゴ ③シナイモツゴ ④ニホンウナギ  
 ⑤ヌカエビ ⑥エグリトビケラ ⑦トンボ類ヤゴ ⑧ミヤケムズムシ

年	トンボ類ヤゴの数
2017年01	0.2
2018年03	1.5
2019年04	28.7
2020年04	27.2
2021年03	55.6
2022年04	161.5

### ブラックバス防除:地域ぐるみで2002年～継続中



### 里山ため池と周辺小川で絶滅危惧魚類を復活保全



問い合わせ先: NPO 法人シナイモツゴ郷の会  
 理事長 高橋清孝 電話 090-4043-3692